

政策の体系

政策の体系って
なに？



京都市全体で取り組むことを、分野ごとに整
理したものが「政策の体系」だよ。
この方針でまちづくりが進められていくんだ。

うるおい

環境

～DO YOU KYOTO?（環境にいいことしていますか？）を
合言葉に、自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす～

基本方針

豊かな森林資源、伝統文化、進取の気性と創造の力など、京都のまちの特性をさらに高め、
京都のまちがもつ「市民力」や「地域力」を総結集し、自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」
の実現をめざす。

みんなでめざす10年後の姿

- ① 子どもたちが、自然環境をかけがえのないものと実感している
- ② 健全で恵み豊かな環境が保たれている
- ③ 「低炭素型まちづくり」が進んでいる
- ④ 環境技術の開発、再生可能エネルギー資源の活用が進んでいる
- ⑤ 「京都流ライフスタイル」が広がっている
- ⑥ ごみを出さないくらしと事業活動が広がっている
- ⑦ 徹底した再資源化が進んでいる

■市民と行政の役割分担と共汗

- 事業活動のあり方を見直し、環境にやさしい取組を実践
- 環境対策に関する技術の研究、開発を推進

- 市民や事業者が身近なことから環境問題に取り組めるよう、京都市、京都府、国が連携し、コーディネート（支援やしくみづくり）を行う

事業者

<共汗の方向性>

家庭、地域、社会のなか
でひとりひとりが主役とな
り、ひととのつながりを通
して環境にやさしいまちを
築く

市民（市外から通勤・通学、
観光するひとを含む）、
市民団体

行政

- 長年にわたり「京都が
大切にしてきたもの」を
もとに、自分のライフス
タイルを見直す
- 家庭や地域で身近なこ
とから環境にやさしい取
組を実践

推進施策

- ① 自然環境とくらしを気遣う環境の保全
- ② 低炭素型のくらしやまちづくりの実現
- ③ ごみを出さない循環型社会の構築

人権・男女共同参画

～ひとりひとりが尊重される社会をめざす～

基本方針

少子高齢化、経済・雇用環境の変化が進むなか、多様な考え方や生き方が迎え入れられ、個性と能力を十分に発揮でき、日々の交流のなかからひとりひとりが尊重され、より豊かな人間関係が育まれる社会をめざす。

みんなでめざす10年後の姿

- ① 互いの違いを認め合い、より豊かな人間関係が育まれている
- ② すべての市民がいきいきと活動できる場所と機会に恵まれている
- ③ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が進展している
- ④ 女性に対するあらゆる暴力が根絶され、安心してくらしている

■市民と行政の役割分担と共汗

- 人権について気付き、考え、みずから行動
- 互いに知り合い、支え合い、理解し合う
- 男女共同参画に関して深く理解
- 各機関で連携した人権施策の推進、相談・救済
- 総合的な人権文化施策の推進と市民・事業者等の活動の支援
- 男女共同参画に関する総合的な施策の推進



＜共汗の方向性＞

日々、互いの尊厳を認め合い、それぞれの立場から役割を担うとともに、連携・協働して、豊かな人間関係が育まれるまちをめざす



- 市民団体、事業者等それぞれにおいて、みずから組織での取組、社会への働きかけの推進
- 専門的知識を生かし、人権文化の推進に貢献

推進施策

- ① すべてのひとの人権を尊重する人権文化の構築
- ② 人権尊重の理念を自主的な行動につなげる取組の推進
- ③ すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進
- ④ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
- ⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

「私たちの京都」を自分たちでつくりあげる

この計画は、京都の市民による、京都のまちの姿・なりわい・暮らしを包摂した「まちづくり」への羅針盤です。地球規模での炭素制約のもと、環境と経済が両立した低炭素社会へと転換していくなければなりません。知と美にあふれ、分かち合う暮らしとともに。京都を愛する人々が共に手をとり、私たちと子どもたち、そして世界の子どもたちのために、「私たちの京都」を自分たちでつくりあげてこそ、自治のモデルとなることでしょう。



浅岡千恵さん
NPO法人気候ネットワーク代表
京都都市基本計画審議会副会長
井澤千恵

青少年の成長と参加

～若き市民とともに未来の京都を築く～

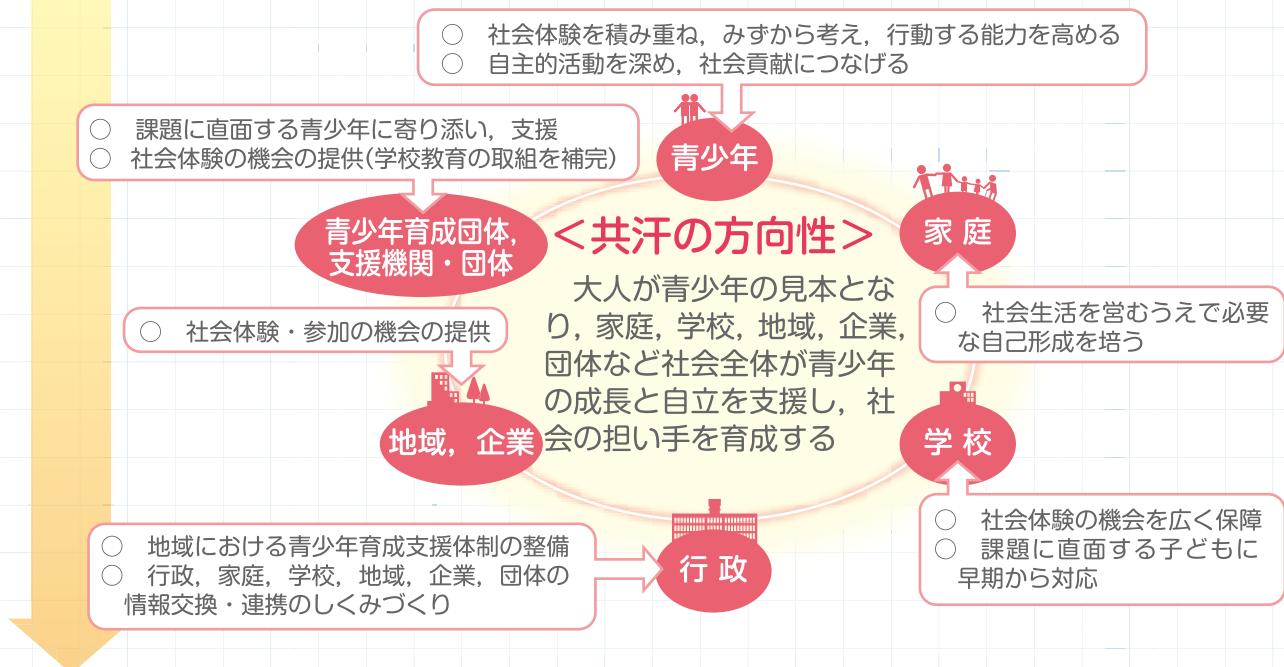
基本方針

青少年が社会を構成する担い手として、みずから考え、行動する大人へと成長、自立することを支援するため、多様な体験、社会参加の機会を提供し、自主的な活動を促進するとともに、社会全体で青少年の育成を支援する体制づくりを推進する。

みんなでめざす10年後の姿

- ① 青少年が「生きる力」を身につけることができている
- ② 青少年がみずから生き方・将来像を設計している
- ③ 青少年の力が社会に生かされている
- ④ 課題に直面する青少年への支援が実施されている
- ⑤ すべての青少年の成長を支援する社会環境と受け入れる居場所がある

■市民と行政の役割分担と共に



推進施策

- ① 青少年の自主的な活動の促進
- ② 課題に直面する青少年の総合的支援の推進
- ③ 青少年の成長を支援する環境づくり

市民生活とコミュニティ

～住民同士がつながり、おもいやり、地域のみんなで築くくらしやすいまちをめざす～

基本方針

市民生活におけるさまざまな課題を地域で解決するため、京都最大の社会資本である地域コミュニティの活性化を図り、住民が主体的に課題に取り組むとともに、行政がパートナーシップの関係に基づいて支援を行い、地域のみんなで築くくらしやすいまちづくりを進める。

みんなでめざす10年後の姿

- ① だれもが気軽に参加できる居場所があり、安心してくらすことができている
- ② 地域の課題に主体的に取り組める多様なコミュニティができている
- ③ 自分たちの地域の課題を把握し、解決に取り組んでいる
- ④ 地域コミュニティと行政とのパートナーシップが深化している
- ⑤ さまざまな分野の市民活動団体が地域コミュニティと連携して活動している

市民と行政の役割分担と共汗



推進施策

- ① いきいきと活動する地域コミュニティづくり
- ② すべての市民活動団体の活性化
- ③ 地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ

融合は市民の共感・共汗を引き出す鍵

キーワードは「融合」。人口減少・少子高齢化と低成長の中で低炭素社会の実現、課題解決に向けた京都の挑戦は、縦割り行政・政策分野を横断的に融合する点にあります。同時代の京都に暮らす者同士。市民の皆さんのがんばり（＝パブリック・コメント）は分野を超えた発想に溢れ、異分野の委員の皆さんも認識を共有、互いに理解し、協働を始めました。若者会議との融合で、真のワーク・ライフ・バランス実現が課題に登場。融合は市民の共感・共汗を引き出す鍵、京都が変わります。



京都市基本計画審議会副会長、融合委員会委員長
宗田好史さん

（京都府立大学大学院生命環境科学研究科
（環境科学専攻）准教授）

市民生活の安全

～地域が支え合う、だれもが安心してくらせるまちをめざす～

基本方針

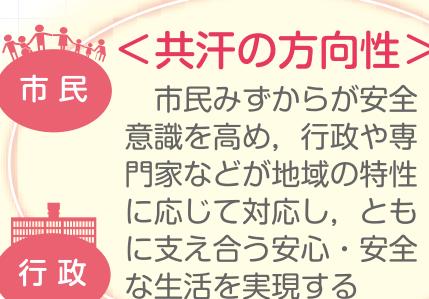
地域コミュニティを活性化するとともに、関係機関が連携し、犯罪、事故、消費者被害などを未然に防ぎ、必要な情報提供、支援を行うことで、市民が自立し、だれもが安心してくらせるまちづくりを進める。

みんなでめざす10年後の姿

- ① お互いに助け合えるまちになっている
- ② 交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちになっている
- ③ 消費者被害の防止が図られ救済体制も充実している
- ④ 自立した消費者が育っている

■市民と行政の役割分担と共汗

- 地域づくり活動など、地域のコミュニティに積極的にかかわる
 - みずからを守る意識を高める
 - 消費生活に関する知識と理解を深め、主体的かつ合理的に選択することができる自立した消費者となる
-
- 地域課題の解決に向けて、地域のコミュニティの取組をバックアップ
 - 消費者被害の未然防止、拡大防止など、消費生活施策を推進



- 地域団体、NPO、専門家、消費者団体、事業者・事業者団体
-
- 連携ネットワーク(一体的地域活動)を意識しながら地域のコミュニティの中核を担う
 - 安心・安全なまちづくりに向けて積極的に取り組む
 - 「みずからも地域の一員」との認識の下、地域のコミュニティに積極的に協力
 - 消費生活施策に協力し、消費者の消費生活における自立に寄与

推進施策

- ① 生活安全(防犯・事故防止)の推進
- ② 消費生活の安心・安全の推進及び消費者の自立支援



仲間と共有できた時間はかけがえの無い宝

基本計画に掲げられた「真のワーク・ライフ・バランス」の提案やパブリック・コメントやイベントの実施など、未来の担い手・若者会議U35の多岐に渡る活動が共汗型計画を生み出した原動力でした。

若者会議のメンバーは活動に多くの時間と労力を割いてきましたが、そのおかげで心から達成感を味わうことができました。この仲間と共有できた時間は人生でもかけがえの無い宝。一生涯、仲間の輪を継続させていくたいと思います。

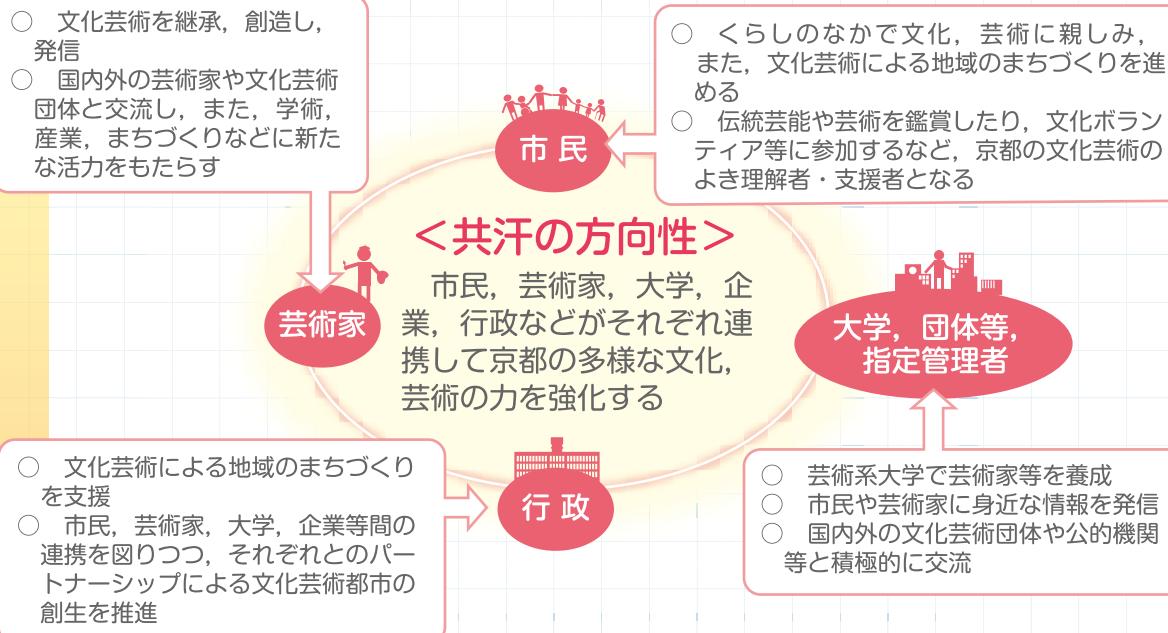
基本方針

くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。

みんなでめざす10年後の姿

- ① 文化芸術にかかわる活動が盛んとなっている
- ② 日常の生活シーンのなかに文化芸術がとけこんでいる
- ③ 文化芸術によって社会全体が活気づいている
- ④ 文化財が社会全体で守られ、地域の活性化にもつながっている

■市民と行政の役割分担と共汗



推進施策

- ① すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり
- ② 歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援
- ③ 世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上
- ④かけがえのない文化財の保護、活用と伝承

スポーツ

～スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちをめざす～

基本方針

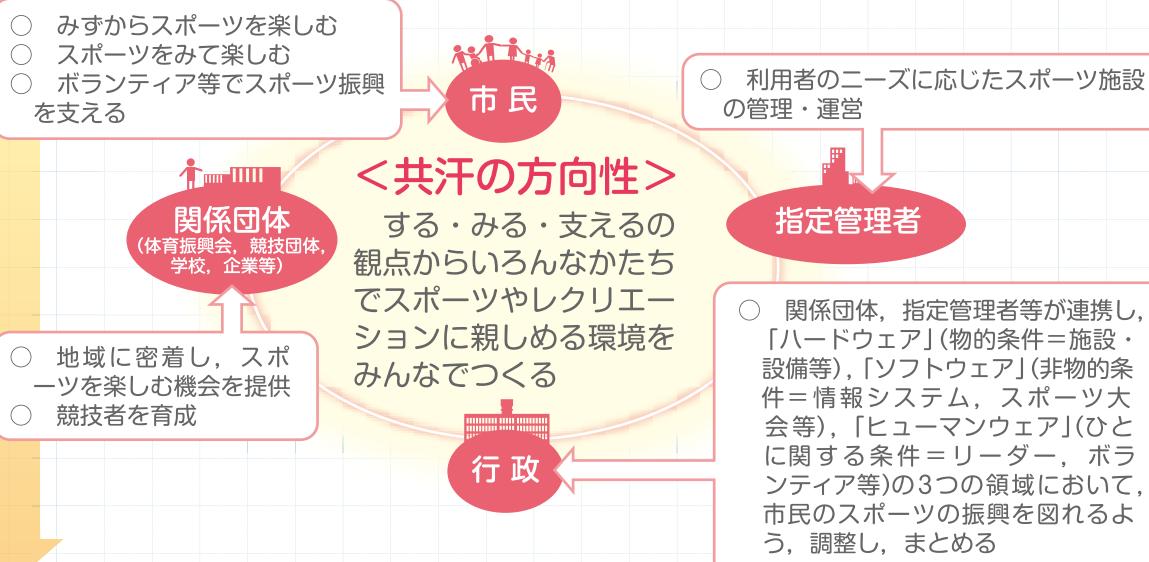
「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツやレクリエーションに親しめる環境を、みんなで支え合うまちづくり」を関係団体(地域のスポーツボランティア団体、競技団体、学校、企業など)や指定管理者と行政が一体となって進める。そのことにより、市民ひとりひとりがスポーツやレクリエーションそのものを楽しむことはもちろん、健康や感動など市民生活に豊かさをもたらすとともに、環境、教育、観光、経済などさまざまな分野の京都のまちづくりをより魅力あるものにする。

みんなでめざす10年後の姿

- ① それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツを楽しんでいる
- ② トップレベルのスポーツに身近に触れられている
- ③ 多様なスポーツ活動を支え合い、ひとつひととがつながっている



■市民と行政の役割分担と共に



推進施策

- ① それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)
- ② トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)
- ③ 多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)